

管理事務所からのお知らせ

今年の梅雨明けは、例年より22日早い6月29日に梅雨明けになり、7月に入ってから台風7号の影響で全国的に大雨となり、西日本を中心に土砂災害や河川の氾濫などの甚大な被害が生じました(平成30年7月豪雨)。その後太平洋高気圧に覆われ、晴れて厳しい暑さとなり、全国各地で猛暑日が続く記録的な高温となり、那須白笹でも例年に無い暑さとなりました。8月中旬以降ようやく朝晩の気温も平年並みに戻って来た感じがします。9月に入ってから、秋雨前線の影響で雨の日が多くなり、朝晩の気温も下がってきて秋を思わせる陽気になって来ましたが、日中の気温は割と高めに推移しているため、今年の紅葉は例年より少し遅いという予報が出ております。

●車の冬の準備を

お車で来荘される際には、冬タイヤ、タイヤチェーン、スコップ、長靴、手袋など、万全の冬支度でお出かけください。タイヤチェーンは万が一の破損に備えて、スペアを積んでおくことをお勧めいたします。なお、凍結した路面上では、4輪駆動車であっても車の性能は著しく低下し、簡単にスリップなどが起こります。車の性能を過信することなく、早めにタイヤチェーンを装着して、安全運転を心がけてください。

●サルにご注意

秋になりますと木の実が実り、別荘地内にサルの出没が多くなります。見かけた場合は危険ですので絶対に近づかないようにしてください。また、食べ物を与えると居座ってしまいますので、絶対にエサを与えないようお願いいたします。

●強風対策を忘れずに

白笹では毎年10月下旬頃になると、山から強い風が吹き下ろしてきます。退荘の際は屋外にあるテーブルやイス、ガーデニング用品など、強風で飛ばされそうな物は屋内に入れて、雨戸を閉めてロックしてください。浴室やトイレなどの窓の閉め忘れにも気をつけましょう。

Q 別荘を建ててから20年以上経ちますが、そろそろ屋根の塗装をした方が良いでしょうか？

A 屋根の状態によりますが、塗装される時期に来ているかと思われます。白笹の厳しい冬の時期を20年以上過ぎてきますと、屋根も傷んでいきます。また、建物周りの木が大きく育ち、屋根に被っていると、樹液が落ちて屋根が痛んだりします。錆が出てくる前に塗装された方が良いでしょう。業者の方をご紹介します、御見積をさせていただきますので、お気軽に管理事務所にお問合せください。

白笹何でも

Q & A



編集室より

ことしの夏、私はすっかりウソつきになってしまいました。—「那須はホントに東京とは大違い。日中はそこそこ暑くなるけれど爽やかだし、夜になるとサーッと気温が下がるから、それはもう快適。クーラーがあったらいいなと思う夜なんて、ひと夏に片手の指で数えられるほどしかないよ」— 日ごろ私は那須の夏の住み心地を、友人知人にそんなふうには話してきました。ところが、今年がわが家(那須町黒田原のはずれ)も異常な暑さに見舞われました。日中の屋内は危険なほどで、爽やかさは皆無。夜も気温はあまり下がらず、クーラーが欲しいと感じた夜の数は両手両足の指を使っても足りないほど。「東京とは大違い」は明らかにウソとなってしまいました。気象庁の統計によると、気温が35℃を超えた猛暑日の数は那須塩原市埼玉で2日(あと一歩で猛暑日という日がさらに4日)、おとなりの大田原市では猛暑日が15日。この数は東京都心の11日を上回りました。白笹はどうだったのか管理事務所のスタッフにお聞きしたところ、「暑くて事務所のエアコンを午前中から入れたことなんて、これまでありませんでした。今年の夏はここ白笹も本当に異常な暑さでしたね」とのこと。特Aクラスの避暑地と言える白笹でさえ、やはり例年のようにはいかなかったようです。那須の紅葉の素晴らしさや秋晴れの日の心地よさ、秋の味覚の豊かさについても、私はよく友人知人に力説しています。もうこれ以上ウソつきにならずに済みますように……。

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)



白笹だより

No.150

2018.10



塩原温泉街の紅葉と箒川

東北自動車道西那須野塩原ICより塩原方面へ20分程走ったところに、紅色に萌えあがる「紅の吊り橋」や、渓流の眺めが最高の「塩原ものがたり館」があります。

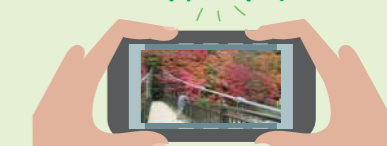
今回は那須塩原温泉郷の数ある紅葉スポットの中でも、紅葉と吊り橋そして露天風呂の3つが1カ所に集まった「紅の吊り橋」周辺をご紹介します。

「紅の吊り橋」は、2003年に完成した全長52.5m、幅1.5mで箒川に架かる橋の中でも圧倒的な人気と注目を集めている吊り橋です。吊橋を囲むように色づいた紅葉は圧巻で、塩原を代表する秋の名所となっています。橋を渡った対岸には、露天風呂の名湯「もみじの湯」があります。無色透明のお湯は肌に優しい柔らかな泉質で、紅葉を眺めながら開放感あふれる温泉気分を愉しむことができます。そして何より入湯料はたったの100円！体ばかりでなくお財布にも優しいですね。

最後に「塩原ものがたり館」ですが、レストランからキラキラと輝く箒川の流れを眺めながら、期待を裏切らない見事な紅葉が楽しめます。また休憩や、写真撮影ができる、ウッドデッキスタイルの眺望スペースも用意されています。さらに箒川沿いには、900メートルに渡り散歩できる遊歩道も設置され至れり尽くせりのスポットです。

紅葉の見頃は、その年の気温にもより違いがありますが、10月の中旬から11月の中旬頃です。

ハイ、パチリ!



(高根沢奈美子さん 2015年11月7日撮影)

白笹掲示板

●水抜きはお早めに

11月に入りますと、突然の寒波の影響で水道・温泉の配管や器具が凍結し破損するおそれがありますので、なるべく早めに水抜きを実施して下さい。また、他の方に別荘をお貸しになる場合は、水抜きの手順等についてご説明をお願いいたします。ご不明な点は管理事務所にお問合せ下さい。管理事務所では各戸の水抜き点検を11月上旬より順次実施していく予定です。

●支障樹木の除去についてのお願い

道路に張り出した樹木や枝は、除雪作業の妨げになることがありますので順次取り除いて参りたいと思います。皆様のご理解をお願い致します。



エンジョイしています。別荘ライフ

— 非日常の日常 —

この雨の季節に山に入ると、玄関のドアを開けた瞬間複雑な有機物が絡み合った匂いがする。夫に言わせると猫のオシッコ臭いとこの事だが、カビだったり何かが発酵したり木の壁や積んでいる薪や外の腐葉土や、何より木々が発している圧倒的な酸素(酸素に匂いは無いが)が混ざり合った匂いで、私は結構落ち着く。シャッターと全ての窓を開け放ち、すぐさま薪ストーブに火をつけて家の中の空気を動かし一新すると、山での生活が始まるのだ。

森の民ドイツでの生活が懐かしくて、この木々に覆われた家を購入して4年。

虫や動物など先住民にお邪魔します、と声を掛け共存しているような生活にも多少は慣れた。週末に訪れると北国育ちではない我々が見たこともないような雪の量に思わず笑ってしまったり、置いていた木ベラにびっしりカビが生えていて、叫び声をあげてストーブに放り込んだり、鳥の賑やかなお喋りで朝目覚めたり、今まで経験したことのない日常がここにはある。

無機質なコンクリートとガラスとアスファルトと空調の中にある都会での生活とは真逆な有機的な空間は、我々に深呼吸を促し、みるみる血中酸素濃度が上がるような気がする。とても贅沢な時間を享受しているとの自覚込みで、それが非日常ではあるけれど、日常でもあるようになるのは、あっという間だった。半月ここに来ないと息苦しくなる感じがする。

夫にとってはスーツと会議とPCの毎日から、マイナスイオンと肉体労働と美味しい野菜への切り替えが「なくてはならないもの」になり、薪割り草刈り家のメンテナンスをしていると自分が充電される気がするそうだ。

それでも都会育ちの我々には本当の田舎暮らしは無理なので、この事務所の方々の管理が行き届いた状態がベストな環境だと感謝している。ダブルスタンダードだけれど、両方に重心を置いている今の生活が、今の我々にはとてもしっくりきている。

さて今年の雪はどうなるだろう？

今回は、埼玉県在住の若杉様ご夫妻に登場していただきました。



若杉様ご夫妻

那須で見られる山野草⑤ アキノノゲシ(キク科)

名の由来は、春に咲く、「ハルノゲシ」に対して、秋に咲くから「アキノノゲシ」という名になったと言います。全国の陽当りの良い野原や道端に普通にみられる2年草で、草丈150cm程度になります。道端の草本類の中では大きいほうなので、よく目立ちます。

種子はタンポポの綿毛を小さくしたような形をしていて、なんとレタスの仲間。早春や日陰の若芽は、レタスと同じようにサラダなどで食べますが、6月頃になると苦味が強くなってしまいますので気を付けてください。

また、塩茹でしてから水にさらし、和え物、おひたし、油いためにする、酒の肴にピッタリです。

花言葉は「控えめな人、謙虚」…道端でアキノノゲシを見つけると、人の優しさに触れたような気がします。



とっておきのお店 お出かけください

まちのパン屋さん Morgenrot モルゲンロート

那須塩原市三島2丁目10-6

TEL・FAX 0287-37-7010

営業時間 あさ9時~よる7時 定休 日曜日・第2月曜日

今回の「とっておきのお店」は、まちのパン屋さんモルゲンロートです。三島小学校の目の前にあるお店は、オープンして丸4年を迎えました。子どもが1、2個気軽に買うことができるお店にしたかった！と、オーナー尾崎さんは言います。ゆとりのある空間は歩きやすく小さい子どもがパンを見て取りやすいようにもしてあるんです。そして!! 驚くのは値段が安い! よくお客様に「こんなに買ったのにこの値段なの?」と心配されるそうです。(私も心配しました笑) 人気メニューの那須の白美人ネギパンはローストした白美人ネギを生地に練り込みバターを乗せて焼いたもの。口に入れた瞬間、ネギの何ともいえない香ばしさが広がりましたよ。そして那須の御養卵を使用したクリームパン! これ今まで食べてきたクリームパンの中でダントツ1位(笑) 濃厚な御養卵のクリームは、まるでカスタードプリンのようなものでした。栃木産の小麦粉「ゆめかおり」そして地元野菜を使用した調理パンなど地産地消にこだわっています。中学生の頃から自分の腕ひとつで商売をすると決めていた尾崎さん。製菓の専門学校へ進みパンづくりを体験して出来上がっていく過程が楽しく感動したそうです。もう自分の道はこれしかない! 一度来て



くれたお客様がまた来てくれ「美味しかった」と言ってもらえた時が最高に幸せで、疲れなんて吹き飛ばしてしまいます。定年のない仕事なので、できる限り続けていきたい。好きなことを仕事にできるって本当に幸せなことだと思いますから…と、さわやかな笑顔で話してくれました。

